

令和6年度 高知県立盲学校 第2回学校運営協議会記録

【委員】※参加者は数字に○印 全委員出席

番号	氏 名	所 属 等	区 分
①	原田 浩平	小高坂各種団体連携協議会副会長	地域住民
②	川田 裕一	越前町Ⅰ丁目北町内会	地域住民
③	石川リエコ	高知県立盲学校PTA会長	保護者
④	高田 麻美	高知県立盲学校PTA副会長	保護者
⑤	上村 雅志	社会福祉法人 小高坂更生センター理事長	学校の運営に 資する者
⑥	中川 理沙	高知県身体障害者連合会 視覚障害者生活訓練指導員	学校の運営に 資する者
⑦	西岡 和美	オーテピア高知 声と点字の図書館館長	学校の運営に 資する者
⑧	伊藤 正孝	高知県進学協議会事務局長	学識経験を 有する者
⑨	中野 直喜	高知県立盲学校長	学校関係者

令和6年度 第2回学校運営協議会

1 日 時 令和7年3月5日(水) 9:30~10:40

※9:00~9:20 小学部 WEB 授業(道德、広島県、三重県、高知県参加)を見学

2 場 所 盲学校校長室

3 委員紹介

4 会長選出 ※事務局提案で伊藤委員を会長に推薦。出席委員全員の承認

5 議 事 (1) 令和6年度学校関係者評価について

- ・学校評価アンケートの報告
- ・令和6年度 of 取組の報告
- ・学校関係者評価

(2) 令和7年度学校経営計画について

- ・令和7年度 of 取組の説明

(3) その他

6 議事概要

(1) 令和6年度学校関係者評価について

学校長及び教頭が資料(学校評価アンケート、学校経営計画)に基づき、令和6年度の校内の取り組みや活動について説明、報告

「意見交換及び学校関係者評価」

〈高田委員〉

防災教育に関する項目では、下校の際に保護者やデイサービスに引き渡した段階で、学校の責任は果たしていると思っている。子どもが無事に帰宅するまで学校は「命を守りたい」と記載されているが、この件について、伺いたい。

〈教頭〉

まず2段階でお答えしたい。

一つ目として、単独で登下校している生徒も在籍しているので、単独登下校中の安全確保について、重点的に取り組みたいという意味も含んでいる。

二つ目として、保護者や放課後デイサービス、タクシーなどを利用している児童生徒についても、登下校時に確実に安全が確保されているか、被災時はどこの避難場所に向かっているのか教職員がもっと関心を持って欲しいという願いでもある。特に被災後、学校再開を目指すうえでも児童生徒の居場所を学校は探すことになる。登下校中の避難経路や避難場所については学級担任などの直接支援にあたっている教職員なら知っている場合もあり得るが、教職員自身も被災者となる可能性も高く、実際には残された教職員で学校再開を目指すこととなる。教職員全員がチーム学校として機能するためには、予想されるリスクに備え、日頃から自分事として子どもたちの命とどのように向き合えばよいか考えてもらいたい。間接的に支援にあたっている教職員にも日頃から保護者や地域社会とコミュニケーションを持ってもらいたいという意図が含まれている。

〈伊藤委員〉

学校が全ての責任を負うのは大変だが、ぜひ、保護者の方と子どもの安全については、積極的に情報を共有し続けて欲しい。

〈川田委員〉

(私は寄宿舍の近くに住んでいるが)年度当初は集団で登下校しているが、最近は集団登校を見かけない。寄宿舍生が減少したのか伺いたい。

〈教頭〉

寄宿舍生は減少していない。年度当初は安全確保のために新入生などは集団で、寄宿舍と学校を登下校している。ただし、単独で寄宿舍と学校の間を登下校できる生徒は歩行訓練後、単独で行動しており、自分の都合の良い時間で寄宿舍と学校の間を移動しているため、集団登下校はしていない。委員のお見掛けする時間帯で教職員が付き添っている寄宿舍生は1名なので減少したように見えていると思われる。

〈川田委員〉

周辺の点字ブロックの破損が見受けられ、白杖が引っかかって危険な場面も見受ける。関

係部署に要望はしているのかお伺いしたい。

〈教頭〉

高知市役所の担当部署に連絡しているものの、全て改修・補修ができていないわけではない。引き続き、要望をお願いしていきたい。

〈伊藤委員〉

学校だけでなく、地域からの要望または学校運営協議会として市役所等へ要望できないか。

〈川田委員〉

地域としては住民側からの要望があれば、行動できるので、今後検討していきたい。個人的には安全な点字ブロックの材質などについても問い合わせている。今後も意見を言うことも大切と思う。

〈伊藤委員〉

昨年度は地域の防犯対策として、町内会から特に夜間、暗くなる箇所に学校の常夜灯の点灯をお願いされていたように記憶しているが実現しているか伺いたい。

〈事務長〉

既に対応済みである。

〈川田委員〉

近年、町内会の活動も低下している。聞くところによると高知市内でも100程度の町内会が機能不全に陥っているらしい。不燃物の回収などもシルバー人材センターに有料で委託せざるを得ないとも聞く。コロナ禍で特に顕著になったと感じている。

〈原田委員〉

共生社会を目指しているものの、要支援者の把握にしても個人情報の壁は高く、町内でも十分把握できていないのが現状である。

〈川田委員〉

民生委員ですら転入者の情報がわからない。また、民生委員が不在の地区も多く存在していると聞く。ますます地域の力が弱まっていると実感している。

〈中川委員〉

Instagramなど SNS を使った情報発信は、よい取組と思う。特に若い世代に盲学校の取組や視覚障害教育の実情を伝えることは大切だと思う。また県内の視覚障害者の中には理療科などの職業教育について知らない方もおられるので、もっと情報発信できるとよいと思う。

〈校長〉

Instagramはまず練習を兼ねて学校給食の様子をアップしている。次年度以降は中川委員ご指摘の情報（授業や行事）等も随時、アップしていきたい。また、旅費予算の都合もあるが、今年度は幡多地域の行政、福祉機関などに直接、訪問し、盲学校の理解啓発に努めることができた。しかし、弱視学級も減少しており、入学者増に結び付いていないのも悩みである。

〈西岡委員〉

盲学校同様、高知声と点字の図書館も利用者数の減少が悩みである。今後とも盲学校と

より一層、連携を深めていきたい。また、盲学校の児童が職場体験実習として利用してもらえたのもうれしかった。中川委員同様、SNS を利用した情報発信は参考にしていきたい。

〈上村委員〉

主体的・対話的で深い学びは、頑張っている教職員もおられると思うので、B 評価でもいいのではないかな？

〈川田委員〉

学部研・教科会の達成率で、実際に参加した回数で多いのはどのくらいかな？

〈教頭〉

目標の 6 回は少なく、目標の半分である 3 回がもっとも多かった。

〈川田委員・伊藤委員〉

教職員の次年度への期待を込めて B 評価でよいと思うがいかがかな。

〈伊藤委員〉

それでは、多くの委員のご意見も伺えたので、すべての項目について、B 評価ではいかがかな。

〈全委員〉

異議なし。

〈校長〉

令和 6 年度の取り組みについてご評価いただき、ありがとうございました。

(2) 令和 7 年度学校経営計画について

学校長よりグランドビジョン資料をもとに令和 7 年度の取組について説明

※教育大綱の改訂、第 4 期高知県教育振興基本計画の内容を踏まえ、中期目標（3 年間）を見据え、生きる力の涵養、在籍者数 2 桁の確保を目指し、毎年度取り組んでいきたい。

令和 7 年度は自立活動の充実、挨拶などの基本的な素養、学習意欲を引き出す授業の実施、視覚障害による学習面、生活面における困難さの克服、豊かな心、自律心、道德心の育成、文化芸術スポーツ、防災教育の充実、魅力発信などをキーワードに取り組んでいきたい。

また、全県を挙げて取り組んでいる教職員の不祥事防止について、本校でも不祥事防止委員会などを設置して話し合い、研修会の実施、スローガンづくり等に取り組んでいるので知っておいてもらいたい。

「意見交換」

特になし。（全委員承認）

(3) その他

令和 7 年度 第 1 回学校運営協議会予定

令和 7 年 7 月 16 日（水）予定

第 2 回学校運営協議会予定

令和 8 年 2 月 25 日（水）予定